

茨城県議会の傍聴に行ってきました

6月7日(木), 3年次文理総合系列41名で水戸市のある茨城県庁と茨城県議会に行ってきました。

最初に県庁を見学し、職員の方の案内で県内各地の祭礼の映像を見たり、県の現状についての説明を受けました。その後最上階の展望フロアから水戸市のパノラマを見学しました。



昼食後、県議会の担当者から県議会の概要や質問趣旨の説明、傍聴の際の注意事項の説明を受け、実際の県議会を傍聴しました。

最初に田村けい子議員からの一般質問があり、それに対して県知事や執行機関の代表者からの答弁がありました。

初めての傍聴でしたが、事前に配布された一般質問の要旨を参考にメモを取りながら1時間を有意義に過ごすことができました。



参加生徒の感想

(一部抜粋)

一人の議員の質問・提案に対して、知事などがそれに答え、どのような方策をしていくのかを答弁していました。

議会を通して議員の人たちの提案を参考にして、我々が住みやすい街をつかっていっていることを初めて知りました。県議会を傍聴して議員さんの具体的な仕事内容を知ることができました。これからの県政がもっと良くなると思います。

3年次5組 大塚 飛翔

議会を傍聴して、印象に残っていることが2つあります。

1つ目は、委員会は大きく分けて常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、情報委員会の4つがあり、さらにそれぞれの中に委員会があることを知ったことです。

2つ目は、実際の質問と答弁を見られたことです。6つの質問に対して、それぞれ担当の方が答弁をされていました。

今回初めて議会を傍聴して今まで知らなかった県議会のしくみを知ることができました。とても貴重な体験ができて良かったです。

3年次5組 上原 輝子

今回、議会の傍聴に参加することにより、近々有権者になる私達が必要な政治的教養を身につけることができました。

傍聴してみて感じたことは、想像と違ったなということです。ニュースなどで国会の様子を見て、質問者の質問にすぐに答えると思っていたので、今日のようにまず質問者がすべての質問をしてから順番に答弁するという形には驚きました。

複数の質問の中で私が身近に感じたのが「ジェンダー平等」、「引きこもり」、「教育」です。特に、成人年齢の引き下げを踏まえた消費者教育の推進の必要を感じました。

3年次5組 古谷野 未暉